

「大阪都市魅力創造戦略 2030(案)」に対する府民・市民意見等の募集結果(案)

パブリックコメント概要 【募集期間】 令和 8 年 5 月 21 日(木曜日)から令和 8 年 6 月 19 日(金曜日)まで

【募集方法】 電子申請・郵送・ファクシミリ

【募集結果】 6 名の方から延べ 6 件(うち意見の公表を望まないもの 2 件)

番号	意見内容	大阪府・大阪市の考え方
めざす姿と視点／テーマ別の取組		
1	今回の計画では府域内の周遊促進に取り組むこととされており、それは当然のことと思います。 然しながら、過去の大阪の成長戦略では、大阪は海外観光客にとっての玄関口である「中継都市」と位置付けられていました。大阪が海外観光客の玄関口であるという強みを十分に生かすには、府内にとどまらず、関西や全国への周遊にも積極的に取り組むべきです。大阪が広域観光のハブとして機能することで、都市の魅力や滞在価値が一層高まり、結果として「誰もが訪れたくなる世界第一級の観光都市」という目標の実現にもつながるものと考えます。 また、大阪が副首都を目指すのであれば、府域内にとどまらず、関西圏全体、さらには全国への周遊を積極的に促進する視点が必要ではないでしょうか。大阪単独の魅力向上に加え、関西、日本全体の観光・交流・経済効果を高める広域的な取組を進めることこそが、副首都にふさわしい都市戦略であると思います。 以上のことから、府内周遊に加え、府外への周遊促進・広域観光のハブ機能についても戦略の中で明確に位置付けることを要望します。	本戦略は、世界的な創造都市の実現に向けて、観光・国際交流・文化・スポーツ各分野において、人々を惹きつける「都市魅力」を創造することにより、国内外からの誘客・交流拡大につなげ、国際都市にふさわしい賑わいをもたらすとともに、大阪の都市としての魅力を高めていくために策定をするものです。
2	経済同友会の方が、「広域で周遊する仕組みづくり」の重要性を言っており、私も同感です。大阪・関西万博をきっかけに発信力が高まっている今、万博開催地である大阪から、率先して広域観光を盛り上げていくべきです。	広域の観光促進については、17 ページの「展開1 世界第一級の文化・観光都市の形成」にかかる具体的な取組として、「関西・西日本との連携強化と交通ネットワークの充実によるゲートウェイ機能の発揮」を掲げていますが、より明確にするため、「関西・西日本との連携強化と交通ネットワークの充実によるゲートウェイ機能の発揮(広域的な周遊環境の充実)」と変更しました。
	関西には、大阪だけでなく、和歌山・奈良・京都など豊富な観光資源があり、大阪から各地域への交通網も整っています。府外の自治体等とも連携し、関西全体として観光客に訴えていくことが大切で、このことは、地方誘客・需要分散を通じたオーバーツーリズム対策にも資するものです。	大阪が持つ都市魅力に加え、関西・西日本のハブ都市である強みも最大限に活かしながら、日本を代表する国際観光拠点として、取組を進めてまいります。
	本戦略では『「未来創造会議」における議論も踏まえて取り組む』とされていますが、その会議はすでに昨年度末に開催され、当面の取組のひとつが、「広域観光促進」と決定しています。そうした動きとの整合性の点からも、関西をリードする大阪の戦略では、17 ページ記載の「府域内の周遊」といった閉ざした内容ではなく、関西・西日本、さらには日本全域も視野に入れた広域観光促進の観点を明確に位置付けるべきと考えます。	
	最後に、大阪と同じく副首都をめざしている福岡では、県・市、両方の観光戦略で、広域観光を明記しています。また、名古屋市の「観光 MICE 戦略 2028」では、広域的な視点を持ち、広域連携による圏域の成長をけん引する役割を担う必要があるといったことや、広域周遊・他の大都市圏との相互誘客といったことも謳われています。これらはあくまで一例ですが、そうした大局的・互恵的な観点を欠いた現在の大阪の案は、他都市との比較においても見劣りするものとなっており、先に述べた修正をされるよう、切にお願いします。	
3	本戦略を補完する具体策として、市役所地下駐車場・万博跡地を活用した金保管拠点の創設を提案する。大阪をシンガポール・ドバイ・スイスと肩を並べる国際金融都市へと押し上げ、世界の人と資金を呼び込むことが目的である。市役所地下駐車場や万博跡地を金保管庫に転用し、日本取引所グループ・大阪取引所と連携した金 ETF 現物受渡拠点を創設する。市は SPC(特別目的会社)方式で土地建物を提供し、保管手数料による安定した歳入基盤を確立できる。金価格が 1 グラム 25,000 円を超える現在、満杯時の保管総額は数兆円、年間収入は数十億円規模、設備投資約 40 億円は 5 年程度で回収可能と試算される。真価は財政効果にとどまらない。「文化都市・MICE 都市・国際交流・スポーツ都市・国際観光拠点」の 5 像すべてを横断的に補完する点にある。最大の貢献は MICE 誘致である。大阪は 2019 年、各国首脳と関係者約 3 万人が集った主要国首脳会議を日本初・史上最大規模で成功させ、都市の実力を世界に示した。金保管拠点を中核とすれば、国際貴金属市場協会の年次総会(2025 年に京都府で開催実績あり)、世界規模の金関連会議、富裕層資産管理の国際会議など世界トップ級の金融系 MICE を呼び込める。万博レガシーの会議施設、開業予定の統合型リゾート、国際空港が連動した「金融 MICE クラスタ―」が誕生する。要人受入基盤も盤石だ。大阪は世界的高級ホテルが数多く立地し、各国首脳団を迎えた実績を持つ。文化都市としては豊臣秀吉の黄金の茶室や堂島米市場という 400 年の資産を現代に再構築でき、国際観光拠点としては富裕層が資産確認に来阪し家族でテーマパークや歴史観光を楽しむ流れが生まれる。これは空論でなく、シンガポール・ドバイ・スイス等で既に実現する現実を大阪に置き換えたものだ。いま世界では金の重心が西から東へ移り、中国の上海黄金交易所が香港を始めシンガポール等へ金保管網を広げ、各国中央銀行も自国保管へ回帰している。だが、その多くは政治色を帯びる。円建て・法治国家・政情安定という日本の強みを持つ大阪こそ、中立で信頼される「アジアの金保管拠点」の最有力候補だ。大阪は既に「スーパーシティ」「金融・資産運用特区」を擁し、中之島は川に挟まれ日本銀行大阪支店に隣接する稀有な堅牢立地。器も立地も整う。今、動かなければ世界の金融マネーと人材は大阪を素通りする。	本戦略は、世界的な創造都市の実現に向けて、国際都市にふさわしい賑わいをもたらすとともに、大阪の都市としての魅力を高めていくために策定をするものです。
		その実現に向け、テーマ別の取組として「アジア・オセアニアでトップクラスの MICE 都市」を掲げ、オール大阪での戦略的な取組により、世界水準の MICE 都市をめざすこととしています。
		いただいた内容については、ご意見として承ります。

全般及びその他		
4	2040 年オリンピックを誘致しましょう。桜島線の延伸が順調に行けば舞洲にも夢洲にもつながるでしょう。前回の誘致失敗要因の一つの交通アクセスについては、鉄道に加えて海からのアクセスでもフェリーで関西空港や神戸空港、瀬戸内の各港からもアクセスでき、その頃にはシーグライダーやEVTOL も普及してるでしょうから多方法でのアクセスが可能になっているでしょう。万博の次はオリンピックを成功させましょう。	本戦略は、世界的な創造都市の実現に向けて、国際都市にふさわしい賑わいをもたらすとともに、大阪の都市としての魅力を高めていくために策定をするものです。 その実現に向け、テーマ別の取組として「スポーツによる活力あふれる都市」を掲げ、国際的スポーツイベントの誘致・開催により、スポーツの感動や興奮を体験できる機会を提供するほか、大阪の都市ブランドの向上を図ることとしています。 いただいた内容については、ご意見として承ります。